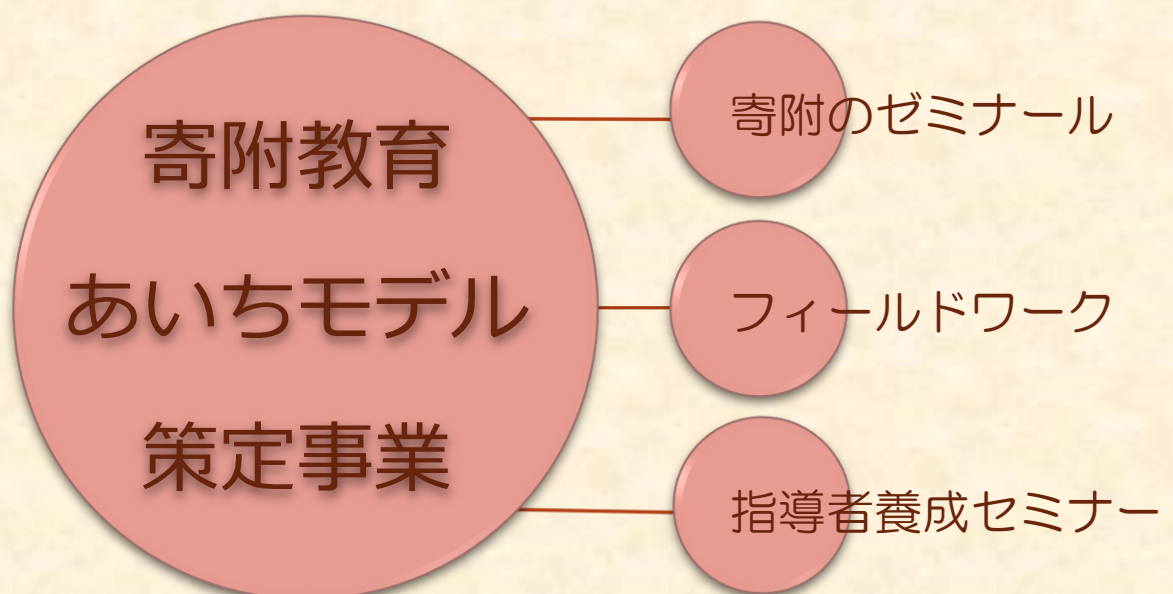


寄附教育あいちモデル策定事業 成果報告BOOK2021

寄附教育あいちモデル策定事業とは

若者の寄附意識や社会参画・貢献意識の醸成を目的として、NPOへの寄附を通じた社会貢献を考える「寄附のゼミナール」をはじめ、ゼミナール参加校の生徒がNPOの活動を現場で体験する「フィールドワーク」、寄附のゼミナールを県内各地で実施可能とするための「指導者養成セミナー」（2020年度からは、「寄附のゼミナール直前講座」）を開催する事業のことです。



目次

寄附のゼミナール . . . 3頁

開催概要	. . .	5頁
開催実績		
参加NPOプレゼンテーション研修	. . .	7頁
寄附のゼミナール	. . .	8頁
参加NPO寄附金活用状況	. . .	25頁

フィールドワーク . . . 39頁

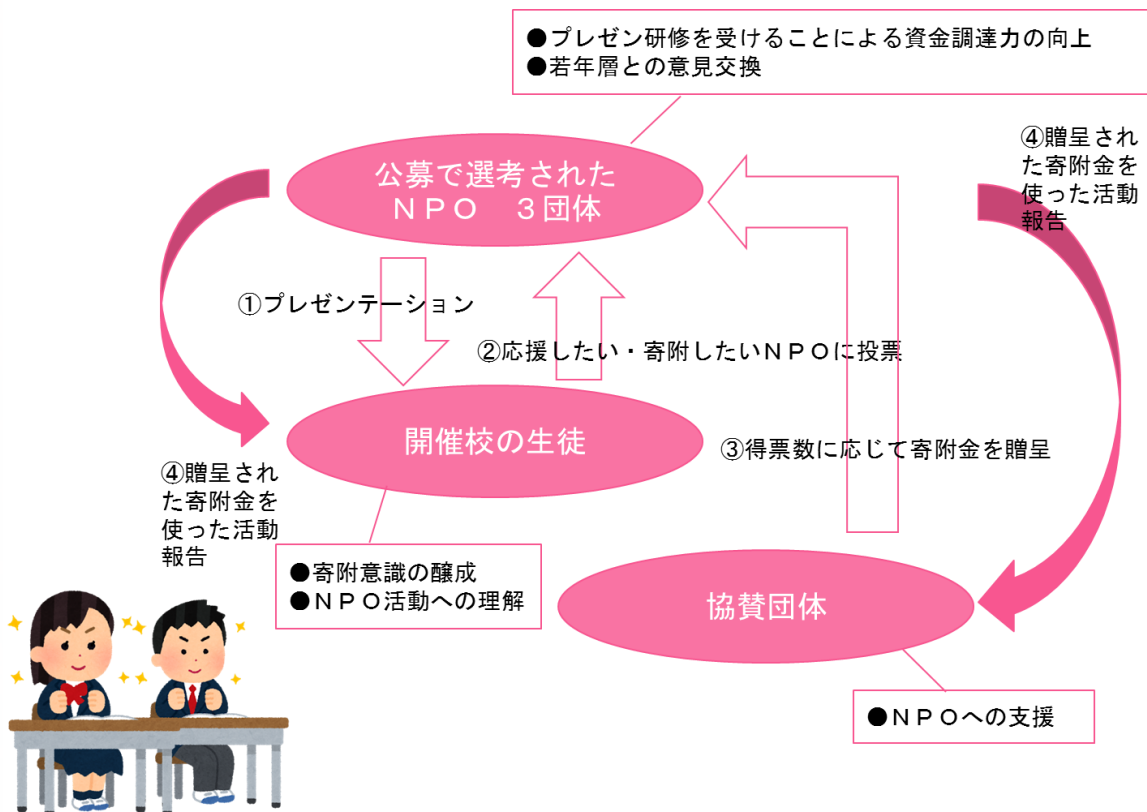
指導者養成セミナー . . . 49頁

寄附のゼミナール

●●● 「寄附のゼミナール」とは ●●●

愛知県では、若者の寄附意識や社会参画・貢献意識の醸成を図ることを目的に、高校生及び中学生がNPOの社会貢献活動を考える「寄附のゼミナール」を開催しました。

このゼミナールでは、参加NPOが中学校又は高校を訪問し、活動内容や寄附による事業の成果等のプレゼンテーションを行い、それにより生徒が「寄附したい」と考えたNPOに投票し、そのNPOと意見交換を行います。また、高校では、協賛団体から、NPOに、その得票数に応じた寄附金が贈呈されます。



●●●2021年度 寄附のゼミナール●●●

1 開催概要

(1) スケジュール

開催校 (所在地) [対象生徒]	日時	参加NPO
愛知県立 半田商業高等学校 (半田市) [2年生 75名]	① 10月28日 (木) ② 11月 4日 (木) いずれも13:30~14:20	・NPO法人とこっ子 ・NPO法人創Seeds ・さえずりの杜
愛知県立 豊橋工科高等学校 (豊橋市) [1年生 77名]	① 11月17日 (水) ② 11月24日 (水) いずれも9:10~10:00	・岩屋緑地に親しむ会 ・NPO法人クオーレ ・みなと塾
安城学園高等学校 (安城市) [1・2年生 14名]	① 12月10日 (金) 16:00~16:50 ② 12月17日 (金) 14:00~14:50	・NPO法人Earth as Mother ・NPO法人アルフィン ・学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会
春日井市立 東部中学校 (春日井市) [1・2・3年生 75名]	① 11月30日 (火) ② 12月 3日 (金) いずれも15:30~16:20	・NPO法人 あいちかすがいっこ ・安城防災ネット ・NPO法人 多文化共生サポートAdagio

(2) 内容

- ①：社会課題や寄附に関する講義
参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
生徒によるグループ討議
各自で寄附したいNPOへ投票
(得票数に応じて寄附額を決定 ※高校のみ実施)
- ②：結果発表及び生徒代表による選定理由発表
(得票数に応じて協賛団体から寄附金を贈呈 ※高校のみ実施)
生徒とNPOとの意見交換

2 参加NPOの概要

社会課題の解決に取り組むNPO12団体が開催校を訪問し（1校あたり3団体）、活動内容のプレゼンテーションと生徒との意見交換を行いました。

開催校	参加NPO（所在地）	主な活動内容
半田商業 高等学校	NPO法人とこっ子（常滑市）	障がい児通所支援
	NPO法人創Seeds（豊明市）	まちづくりに関する中間支援
	さえずりの杜（半田市）	誰でも安心して気持ちを語り合える場の提供
豊橋工科 高等学校	岩屋緑地に親しむ会（豊橋市）	森林保全、森林に関する学習支援
	NPO法人クオーレ（豊橋市）	障がい者就労移行支援
	みなと塾（豊橋市）	地域の海、川の環境を守るための諸活動
安城学園 高等学校	NPO法人Earth as Mother（名古屋市）	農業、福祉、地域コミュニティづくり
	NPO法人アルフィン（半田市）	体育、スポーツの企画・指導
	学校が苦手な子と親の居場所おこのみ会（安城市）	不登校の子と親の居場所づくり
東部 中学校	NPO法人あいちかすがいっこ（春日井市）	子育て支援、情報発信
	安城防災ネット（安城市）	防災啓発活動
	NPO法人多文化共生サポートAdagio（西尾市）	日本人住民と外国籍住民との共生社会の実現に寄与する活動

3 協賛団体

社会貢献活動に熱心に取り組んでおられ、本事業の趣旨に賛同された以下の3団体から、各30万円の寄附金が贈呈されました。

- ・住友理工株式会社（名古屋市中村区）
- ・東海労働金庫（名古屋市中区）
- ・株式会社サーラコーポレーション（豊橋市）

4 開催実績

(1) 参加NPO プレゼンテーション研修

公募により募集されたNPO12団体に対し、寄附のゼミナールにおいてより効果的なプレゼンテーションを実施するため、また、伝える力を身につけることにより資金調達力の向上につなげるため、プレゼンテーション研修を実施しました。

① 全体研修 9月11日（土）14：00～16：00

全体研修は、オンラインで行われました。

認定NPO法人日本ファンドレイジング協会の認定ファンドレイザー西村健氏より、NPO活動資金の効果的な獲得について講義いただいた後、NPO法人中部プロボノセンター代表理事戸成司朗氏により、共感するプレゼンテーションをテーマに、プレゼンテーション資料の作成について講義いただきました。

② 個別研修 9月28日（火） 豊橋市民センター 9月30日（木） あいちNPO交流プラザ 10月 6日（水） 安城市民活動センター 10月18日（月） 半田市市民交流センター

個別研修は1団体ごとに、全体研修でのプレゼンテーション資料作成のレクチャーに従い、それぞれが作成した資料を基に行われました。

プレゼンテーションを実践しながら、全体の構成や言葉の選び方など、高校生及び中学生に、より伝わるプレゼンテーションとするための研修を受けました。



(2) 寄附のゼミナール

社会課題の解決に取り組むNPO12団体が開催校を訪問し（1校あたり3団体）、活動内容のプレゼンテーションと生徒との意見交換を行いました。

① 愛知県立半田商業高等学校

場 所：県立半田商業高等学校 武道場

参加者：75名（2年生 総合ビジネス科の生徒）

1回目 10月28日（木）13:30～14:20

- 社会課題や寄附に関する講義
- 参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
- 生徒によるグループ討議
- 各自で寄附したいNPOへ投票

NPO活動と寄附の意義について、今年度の寄附のゼミナール実施業務を受託しているNPO法人中部プロボノセンター事務局長大須賀氏による基礎講義が行われた後、NPO3団体からのプレゼンテーションが実施されました。



そして、グループに分かれて生徒間で討議し、意見を交換しました。

その後、投票用紙に、それぞれの意思で、寄附したい・支援したい団体名、理由を記載し、投票しました。



参加NPO

NPO法人とこっ子



「Normalization って？」

発達に偏りを持った児童・成人でも『普通の暮らし』をする権利があります。Normalizationの実現をめざして、発達に偏りを持った児童の通所支援をしています。

NPO法人創Seeds



「まちづくりは、仲間づくり」

まちづくりは誰でも参加でき、仲間の輪を広げることができます。行政にはできない活動を市民のためにと考え、小学校の廃棄備品を思い出の品にするプロジェクトなど、幅広い活動をしています。

さえずりの杜



「グリーフからつながる優しい社会」

グリーフとは、かけがえのないものを失ったことによる愛しさと深いかなしみなどの様々な感情のことです。そんなかなしみを抱えた人に気持ちを語り合える場を提供しています。

2回目 11月4日（木）13:30～14:20

- 結果発表及び生徒代表による選定理由発表
- 生徒とNPOとの意見交換

高校生による投票結果が発表され、その得票数に応じて、住友理工株式会社様からの寄附金が、経営企画部有賀部長様から、参加した3団体に贈呈され、高校生とNPOへメッセージが送られました。

生徒代表による投票理由の発表後、生徒とNPOとの意見交換が行われました。



寄附金の目録の贈呈



メッセージを送られる有賀部長様



高校生とNPOとの意見交換（左から、とこっ子・創Seeds・さえずりの杜）

投票結果

	NPO	票数	寄附金額
	NPO法人とこっ子	42票	168,000円
	NPO法人創Seeds	6票	24,000円
	さえずりの杜	27票	108,000円
計		75票	300,000円

参加者の声

高校生から

- 発達に偏りのある子が楽しそうに過ごしている写真や、スーパーに行けない代わりに買って買い物体験をするといった工夫がすばらしく、心を動かされた。（とこっ子）
- 発達に偏りのある人が、苦手なことや改善したいことを体験しに行くことで、普通にできるようになった人もいて、周りの差別がなくなり、その人自身が自信を持って暮らせると思った。（とこっ子）
- 行政ではやってくれない市民のための活動をしている所や、人と人をつないで仲間の輪を広げるという所に、とても魅力を感じた。（創Seeds）
- いろんな団体を作ってまちづくりをされていて、自分たちも協力できると思った。みんなが元気で健康に手軽に農業を楽しめるのはいいなと思った。（創Seeds）
- 誰でも起こりうるというのを聞いて、もし自分に起こった場合や、身近な人にもと考えたら、気持ちを語り合える場所を提供している「さえずりの杜」は素晴らしい取り組みだなと思った。たくさんの方々の力の1つになればと思った。（さえずりの杜）
- 私が初めて知ったので、もっとみんなに知ってほしいと思った。自分がもし大切な人・ものを失ったときに、立ち直れないと思ったが、このような場が周りにあれば安心できる。人とつながることはとても大切で、たくさんあるだけ自分にプラスになると思った。（さえずりの杜）



先生から

- NPOについて知り、かつ寄附の必要性について知ることができる良い機会となった。
- 生徒の投票数で寄付金が決まるというシステムにより、自分の1票の価値を知ることができたと思う。

NPOから

- 思いだけでは継続は難しく、理想と現実の間で迷う事も度々だったが、今回の経験を通して、私たちが何を大切に活動をしているのかを改めて振り返り考える良い機会となった。
- 高校生が「なぜ自分はこの団体を選んだか」の発表をしてくれたが、私たちの思いがよく理解されていて、素晴らしい発表だった。



② 愛知県立豊橋工科高等学校

場 所：県立豊橋工科高等学校

①プレゼンテーションルーム ②体育館

参加者：77名（1年生）

1回目 11月17日（水）9:10～10:00

- 社会課題や寄附に関する講義
- 参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
- 生徒によるグループ討議
- 各自で寄附したいNPOへ投票

NPO活動と寄附の意義について、今年度の寄附のゼミナール実施業務を受託しているNPO法人中部プロボノセンター事務局長大須賀氏による基礎講義が行われた後、NPO3団体からのプレゼンテーションが実施されました。



そして、グループに分かれて生徒間で討議し、意見を交換しました。その後、投票用紙に、それぞれの意思で、寄附したい・支援したい団体名、理由を記載し、投票しました。



参加NPO

岩屋緑地に親しむ会



「岩屋緑地に行ったことはありますか？」

岩屋緑地には、様々な生き物が生息しています。私たちは、山を守り、山に来てもらうための活動をしています。この環境をいつまでも大切に守っていきましょう。

NPO法人クオーレ



「“働くこと”に何か制限がある方を応援して、楽しく働ける社会を創ること！」

『生きづらさ』を感じている方々に対して、社会の一員として可能な限り“希望する生活”ができる様に自立支援に関する事業を行っています。

みなと塾



「六条潟 三河湾を守ろう」

六条潟のアサリの稚貝を、県内の多くの漁場に移植放流しています。アサリの稚貝が湧く奇跡の六条潟を次世代へ引き継ぐため、海岸清掃や生き物調査などの活動をしています。

2回目 11月24日（水）9:10～10:00

- 結果発表及び生徒代表による選定理由発表
- 生徒とNPOとの意見交換

高校生による投票結果が発表され、その得票数に応じて、株式会社サーラコーポレーション様からの寄附金が、コーポレートブランディング推進部川島部長様から、参加した3団体に贈呈され、高校生とNPOへメッセージが送られました。生徒代表による投票理由の発表後、生徒とNPOとの意見交換が行われました。



寄附金の目録の贈呈



メッセージを送られる川島部長様



高校生とNPOとの意見交換（左から、岩屋緑地に親しむ会・クオーレ・みなと塾）

投票結果

NPO	票数	寄附金額
岩屋緑地に親しむ会	24票	93,506円
NPO法人クオーレ	24票	93,506円
みなと塾	29票	112,988円
計	77票	300,000円

参加者の声

高校生から

- “働くこと”に何か制限がある人たちは、自分1人ではどうしようもできない人が多いと思う。その中で、1人で困っている人の手を取り、その人の希望に応じてサポートをしてあげるということが、とてもいいなと思った。楽しく不自由なく働ける人が増えてほしいと思った。(クオーレ)
- 障がいのない人も仕事に就きづらいコロナ禍で、障がいのある方はより仕事に就きづらいと思うので、少しでも協力できたらと思った。(クオーレ)
- 岩屋緑地に家族で散歩に行ったことがあり、その時にとっても良い空気で、森の中を散歩できるのは良いことだと思ったので、明るい森を作りたい、山に来てもらいたいという気持ちに共感した。(岩屋緑地に親しむ会)
- 何のために何がしたいのかが明白で、特に人との関わりが増える活動に魅力を感じた。実際に自分もやってみたいと思う活動もあった。(岩屋緑地に親しむ会)
- 海がどんどん汚くなっているのので、生態系ときれいな海や浜を守ってほしい。プレゼンを聞いていて、地元の小学校や、地元の人たちと協力してやっているのので、頑張ってもらいたいと思った。(みなと塾)
- 海の生き物や海の環境を良くするための清掃などが行われていることを知って、自分も海の生き物や海を大切にしたいと思った。(みなと塾)



先生から

- NPO団体がそれぞれどのように活動しているのかを知る良いきっかけとなった。生徒も、色々な方の活動があって地域が支えられていると知ることができたと思う。
- 自分が投票したことによって金額が決まるシステムは、生徒にとって身近に寄附することを実感できるので、良いと思う。
- 色々な活動に取り組んでいる団体があることを生徒が知ることができた。そして、プレゼンを聞き、自分たちなりに考えてその団体に投票することができ、良い経験となった。

NPOから

- 高校生とのコミュニケーションが取れたことと同時に、自分たちの活動を知ってもらえ、有意義だった。
- 寄附というものを生徒に教えるという趣旨は、生徒に限らず、寄附文化を極めるにはとても良いことだと思う。

③ 安城学園高等学校

場 所：安城学園高等学校 視聴覚教室

参加者：14名（1・2年生 生徒会、学び探究部の生徒）

1回目 12月10日（金）16:00～16:50

- 社会課題や寄附に関する講義
- 参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
- 生徒によるグループ討議
- 各自で寄附したいNPOへ投票

NPO活動と寄附の意義について、今年度の寄附のゼミナール実施業務を受託しているNPO法人中部プロボノセンター代表理事戸成氏による基礎講義が行われた後、NPO3団体からのプレゼンテーションが実施されました。



そして、グループに分かれて生徒間で討議し、意見を交換しました。その後、投票用紙に、それぞれの意思で、寄附したい・支援したい団体名、理由を記載し、投票しました。



参加NPO

NPO法人Earth as Mother



「弱者も働ける就労施設を創りたい ～マザリーアースプロジェクト～」

社会的弱者も働ける就労施設を創り、多様性を認め、快適で豊かな暮らしができる地域コミュニティのある社会にしたいと思っています。

NPO法人アルフィン



「スポーツ鬼ごっこが作る子どもたちの心と体」

子どもたちの運動機会は、コロナ禍で減少しています。私たちは、子どもたちにスポーツ鬼ごっこをする機会を提供することで、真っ白な子どもたちへ色々な色を与えるお手伝いをしていきます。

学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会



「増え続ける不登校
19万人の苦悩
～変わる不登校支援～」

不登校を経験した子どもとその親が週に一度集まる居場所づくりをしています。子どもの姿を見て、ありのままの自分を受け止めてもらえる体験がエネルギーになると実感しました。

2回目 12月17日（金） 14:00～14:50

- 結果発表及び生徒代表による選定理由発表
- 生徒とNPOとの意見交換

高校生による投票結果が発表され、その得票数に応じて、東海労働金庫様からの寄附金が、営業統括部山本次長様から、参加した3団体に贈呈され、高校生とNPOへメッセージが送られました。

生徒代表による投票理由の発表後、生徒とNPOとの意見交換が行われました。



寄附金の目録の贈呈



メッセージを送られる山本次長様



高校生とNPOとの意見交換（左から、Earth as Mother・アルフィン・おこのみ会）

投票結果

NPO	票数	寄附金額
NPO法人Earth as Mother	4票	85,714円
NPO法人アルフィン	3票	64,286円
学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会	7票	150,000円
計	14票	300,000円

参加者の声

高校生から

- ひきこもりになってしまった人の自立を助けることは、その人のためだけでなく、家族や社会のためにもなり、また、地域ブランドを作ることは、地域の魅力を伝えることもできると思った。（Earth as Mother）
- ひきこもりになってしまった社会的弱者の人たちが何度も挑戦できる場所をつくってほしいと思った。頑張っただけなのにそこで失敗してまたひきこもりに戻ってしまうのはかわいそうだと思ったので、何度も挑戦できる場所は必要だと思った。（Earth as Mother）
- スポーツ鬼ごっこというものを単純に楽しそうだと思った。自分のクラスで学級レクとして行ったり、友達と公園でやってみたいと思った。生徒会と学び探究部で1回参加してみたいと思った。（アルフィン）
- 子どもたちにより良いスポーツの場を与えたいと思った。また、この寄附金で参加人数が多くなると、よりいっそう楽しくなると思った。（アルフィン）
- 子どもどものときに不登校・ひきこもりになってしまったら、今後、大人になったときに自立するのがとても難しいと思い、子どもどものときから人とのふれあいや大人との関わりは大切にすべきだと思った。（おこのみ会）
- 不登校の子は学校へ行かないと人と関わる機会が減ることがあるので、おこのみ会のような居場所が大切だと思った。不登校の子どもたちがおこのみ会で学べることがあったり、コミュニケーションややりたいことを見つけられる機会ができたりして、学校へ行けなくても成長していけるところが良いと思った。（おこのみ会）



先生から

- 高校生が地域社会のことを知ったり関わったりする機会として非常に有意義であったと感じる。

NPOから

- プレゼンテーションのスキルを学べただけでなく、高校生の皆さんが真剣に考え、私たちに自分の経験も含めて話してくれたことにとっても感激した。それを励みにこれからも活動を続けていきたいと思う。
- プレゼン研修でプレゼン作成のポイントを学ばせてもらったり、高校生の課題に対する思いを聴かせてもらったり、協賛企業様の社会問題に対する取り組みについて知ることができて、とても有意義であったと感じた。

④ 春日井市立東部中学校

場 所：春日井市立東部中学校 体育館

参加者：75名（1・2・3年生 ボランティア部の生徒）

1回目 11月30日（火）15:30～16:20

- 社会課題や寄附に関する講義
- 参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
- 生徒によるグループ討議
- 各自で寄附したいNPOへ投票

NPO活動と寄附の意義について、今年度の寄附のゼミナール実施業務を受託しているNPO法人中部プロボノセンター事務局長大須賀氏による基礎講義が行われた後、NPO3団体からのプレゼンテーションが実施されました。



そして、グループに分かれて生徒間で討議し、意見を交換しました。その後、投票用紙に、それぞれの意思で、寄附したい・支援したい団体名、理由を記載し、投票しました。



参加NPO

NPO法人あいちかすがいっこ



「地域の関わりを次世代が担う」

私たちは、母親たちを応援する活動を行っています。青年期に多世代の大人と関わることは重要です。ぜひ、ボランティアなど体験しませんか？

安城防災ネット



「身近な防災を考えよう！」

災害に備えていない家庭が多いですが、実際の災害時には様々な問題が起こります。防災リュックをすぐ持ち出せる場所に置くなどの備えを、自宅で行いましょう。

NPO法人多文化共生サポートAdagio



「多文化共生への取り組み」

多文化共生とは、様々な背景を持った人たちが共に生きていくことです。私たちは、外国人住民と日本人住民がお互いに寄り添って生活していけるような地域にしたいという思いを持って活動しています。

2回目 12月3日（金） 15:30～16:20

- 結果発表及び生徒代表による選定理由発表
- 生徒とNPOとの意見交換

中学生による投票結果が発表され、生徒代表により投票理由が発表されました。各NPOに「共感」し、NPOによるプレゼンがよく伝わったことが感じられました。

各NPOから生徒たちへ御礼の言葉が述べられたのち、生徒とNPOとの意見交換が行われました。



高校生とNPOとの意見交換（左から、あいちかすがいっこ・安城防災ネット・Adagio）



投票結果

NPO	票数
NPO法人あいちかすがいっこ	11票
安城防災ネット	41票
NPO法人多文化共生サポートAdagio	23票
計	75票

参加者の声

中学生から

- 春日井市のための子育て支援は、将来大人になったときも利用しやすいと思った。近所との交流を増やすという面も良いと思った。（あいちかすがいっこ）
- 説明がわかりやすかった。子どものボランティアが少ないと聞いて、もっと活発に活動してほしいと思った。（あいちかすがいっこ）
- 私の身近にも外国人の人がたくさんいるけど、これまではあまり気にしていなかった。でも、その人たちの気持ちをよく考えてみると、すごく大変だし怖い思いをしていることに気付いた。だから、そういう人たちの力になってあげたいと思った。（Adagio）
- 外国の方とコミュニケーションをとることはなかなかないし、困っている人を助けることは大切なことだと思った。外国籍で日本語が分からず勉強ができないままな人を助けてあげたいと思った。（Adagio）
- 防災はとても大切なことだと思うし、何かあってからでは遅いから、早めに対策しておくことが大切だと改めて学べた。（安城防災ネット）
- 一番身近に起こる出来事だったし、いつ災害が起こるか分からないので、今から準備をすることが大切だと改めて思い、興味を持つことができた。災害に備えていない家庭が多いことが事実で、改善していくことが大切だと思った。（安城防災ネット）



先生から

- 寄附やNPOについて、ニュースや新聞で目にする機会はあっても、生徒たちの日常で詳しく知る機会はなかなかない。プレゼンを聞き、寄附を体験することで学びが深いものになったと思う。自宅でも話題にしてもらい、学びが共有されるといいなと思う。
- 学校生活では経験できないことを経験することができ、考え方など多くのことを学ぶことができた良い時間だったと思う。

NPOから

- 今まで、面識のない人の前で団体の活動内容や、将来ビジョンを話す機会がなかったので、良い経験になった。
- 自身のプレゼン力の向上にとっても役立ち、次世代を担う子どもたちの考えも聞くことができた。




参加NPO 寄附金活用状況

(2022年1月末時点)


寄附のゼミナール in あいち 2021

寄附金活用状況について

NPO団体名 (URL)	NPO法人 とこっ子 (http://tokokko.com/)												
参加学校名	半田商業高等学校												
受け取った寄附金額	168,000円												
寄附金の活用状況	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>感覚統合遊具の補充事業</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>令和4年6月～9月</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>児童発達支援事業所 とこころ園</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>令和4年10月予定の、とこころ園の高台への移転に伴い老朽化した感覚統合遊具を買いなおすことで、より安全で効果的な発達支援をおこなう。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>発達に偏りを持つ、0歳～6歳の児童</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>1日20人</td> </tr> </table> <p>「発達に偏りを持つ子供の感覚統合用遊具の購入予定です」</p> <p>■具体的な状況</p> 	事業名等	感覚統合遊具の補充事業	日時(期間)	令和4年6月～9月	場所	児童発達支援事業所 とこころ園	内容	令和4年10月予定の、とこころ園の高台への移転に伴い老朽化した感覚統合遊具を買いなおすことで、より安全で効果的な発達支援をおこなう。	対象	発達に偏りを持つ、0歳～6歳の児童	参加人数	1日20人
事業名等	感覚統合遊具の補充事業												
日時(期間)	令和4年6月～9月												
場所	児童発達支援事業所 とこころ園												
内容	令和4年10月予定の、とこころ園の高台への移転に伴い老朽化した感覚統合遊具を買いなおすことで、より安全で効果的な発達支援をおこなう。												
対象	発達に偏りを持つ、0歳～6歳の児童												
参加人数	1日20人												
一言メッセージ	津波の危険の少ない高台に移転する予定の、幼児部門の『とこころ園』が使用してきた大型の感覚統合遊具が老朽化してきているので、新規購入を考慮していました。移転ともなう経費も大きいことから、予算の捻出に苦慮していたところでしたので、本当に助かりました。毎日使うものなので、大切にに使わせていただきます。本当にありがとうございました。												
NPO活動に向けた抱負	今後は、福祉避難所を含めた、公的な取り組みから漏れたり、優先順位の低位に位置するものの、少数の人々にとってはとても重要な仕組みや取り組みを、当事者の方々と共に、一つ一つ形にしていきたいと思っています。NPOはフットワークが軽く地域の小さな必要を見つけて解決していける、地域になくはならない存在です。これからも、常滑の地に発達に偏りを持った児者の楽園を作っていけるように頑張っていきます！！												

寄附のゼミナール in あいち 2021

寄附金活用状況について

NPO団体名 (URL)	NPO法人創Seeds (https://sow-seeds.com)												
参加学校名	半田商業高等学校												
受け取った寄附金額	24,000円												
寄附金の活用状況	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>キミのスタ場 まちづくり人財発掘事業</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>令和4年1月29日(土)9時30分～11時30分</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>豊明市文化会館ギャラリー</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>100インチの液晶プロジェクター用スクリーンを購入し、講演会「今からでも遅くない、最初の一步を踏み出す勇気」で使用【講師:塚本こず恵(市民団体Mirai Terrace+代表)】</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>どなたでも参加可能</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>12名</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>《今まで》 豊明市文化会館ギャラリーには、液晶プロジェクター用のスクリーンが設置されておらず、「第1回キミのスタ場」では、壁の石膏ボードをスクリーン代わりにしていた。多孔ボードのために、文字が読み辛いという難点があった。</p> <p>《寄附金活用後》 まちづくり人財発掘事業「第2回キミのスタ場」は 早速、寄附金で購入した大型スクリーンを使い、大きくて鮮明な映像を映写して、充実した事業にできた。塚本こず恵氏(市民団体Mirai Terrace+代表)を講師に開催した(写真)。塚本氏は、「社会復帰を目指している人」をサポートする団体の代表である。講演骨子は、ホームレス生活に到るのは早く、そこから這い上がるのはとても大変ということだった。大きな映像を見ながら当事者が最初の一步を踏み出す勇気を持つことと、それに寄り添う人の支援が必要なのが良く理解できた。参加者それぞれが、自分自身のやりたいことを見つける良いきっかけになった。なお、スクリーンの価格は、寄附金額を少し超えたが、不足分は創Seedsの予算から拠出した。</p> 	事業名等	キミのスタ場 まちづくり人財発掘事業	日時(期間)	令和4年1月29日(土)9時30分～11時30分	場所	豊明市文化会館ギャラリー	内容	100インチの液晶プロジェクター用スクリーンを購入し、講演会「今からでも遅くない、最初の一步を踏み出す勇気」で使用【講師:塚本こず恵(市民団体Mirai Terrace+代表)】	対象	どなたでも参加可能	参加人数	12名
事業名等	キミのスタ場 まちづくり人財発掘事業												
日時(期間)	令和4年1月29日(土)9時30分～11時30分												
場所	豊明市文化会館ギャラリー												
内容	100インチの液晶プロジェクター用スクリーンを購入し、講演会「今からでも遅くない、最初の一步を踏み出す勇気」で使用【講師:塚本こず恵(市民団体Mirai Terrace+代表)】												
対象	どなたでも参加可能												
参加人数	12名												
一言メッセージ	「ボランティア活動は、社会的弱者のために行うもの」というのが社会通念になっている状況で、私たちの団体を選んでくれた高校生には感謝したい。「まちづくり」という私たちの活動内容をしっかり理解し、素直で心がこもったすばらしい発表をしてもらえたことに感銘を受けた。												
NPO活動に向けた抱負	私たちの活動を応援してくれる高校生たちがいることを知る機会に恵まれ、大いに勇気づけられた。高校生たちに評価された「行政にはできない市民活動」や「団体と団体をつないで新しい活動の創生」を通して、市民活動の活性化を行い、「まちづくり」につなげていきたい。												

寄附のゼミナール in あいち 2021

寄附金活用状況について

NPO団体名	さえずりの杜												
参加学校名	半田商業高等学校												
受け取った寄附金額	108,000 円												
寄附金の活用状況	<p>以下①～③の事業に寄附金を活用させていただきます。</p> <p>■概要①</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>① オーストラリアプリザーブドフラワーdeお飾りづくり体験</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>令和3年12月20日(月) 13時30分～15時30分</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>はんだクラシティ3F 活動ルームAB</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>長年さえずりの杜にお越しくださっている方達とお正月のお飾りにも活用できるプリザーブドフラワーの製作をし、ゆったりとした時間を過ごしていただく</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>さえずりの杜利用者様</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>5人(参加予定6人)</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>普段、さえずりの杜のアート体験は、主にパステルアートによる創作活動で、季節感のある作品や曼荼羅アートを描き、作品を通して語らいの場になったり、静かにゆったりした時を過ごす場として利用されています。新たなアート体験の一つとして、オーストラリアプリザーブドフラワーを活用し自然に触れ、香りを楽しみながら、くつろいでいただきたいと思い、先ずはいつも利用されている方にお声がけしプチイベントを開催いたしました。当日は、皆さん集中して取り組み、作品が出来上がると『またやってみたい!』と見せあいっこしながら満足されていました。今後も、アート体験の1つとして取り入れていきたいと考えています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	事業名等	① オーストラリアプリザーブドフラワーdeお飾りづくり体験	日時(期間)	令和3年12月20日(月) 13時30分～15時30分	場所	はんだクラシティ3F 活動ルームAB	内容	長年さえずりの杜にお越しくださっている方達とお正月のお飾りにも活用できるプリザーブドフラワーの製作をし、ゆったりとした時間を過ごしていただく	対象	さえずりの杜利用者様	参加人数	5人(参加予定6人)
事業名等	① オーストラリアプリザーブドフラワーdeお飾りづくり体験												
日時(期間)	令和3年12月20日(月) 13時30分～15時30分												
場所	はんだクラシティ3F 活動ルームAB												
内容	長年さえずりの杜にお越しくださっている方達とお正月のお飾りにも活用できるプリザーブドフラワーの製作をし、ゆったりとした時間を過ごしていただく												
対象	さえずりの杜利用者様												
参加人数	5人(参加予定6人)												
一言メッセージ	今回のプチイベントを開催できたのも、「自分や身近な人でグリーフを抱えた人がいたら紹介したいし、そういった居場所があることを知れて良かった」など高校生の皆さんの声の後押しになりました。ありがとうございます。												
NPO活動に向けた抱負	さえずりの杜の活動を多くの方に知っていただき、さえずりの杜で過ごしたことでセルフケアの1つとして役立つ活動を今後も取り組んでいきたいです。												

寄附のゼミナール in あいち 2021

寄附金活用状況について

NPO団体名	さえずりの杜												
<p>寄附金の活用状況</p> <p>「生演奏会でそれぞれのこころの中にある大切な人のいのちを思いながら、音楽を通した癒しの時間、くつろぎの時間を体験していただきます」</p>	<p>■概要②</p> <table border="1" data-bbox="511 466 1372 998"> <tr> <td>事業名等</td> <td>② みんなの交流サロン さえずりの杜 ミニコンサート</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>令和4年3月30日(水)13:30~15:30(開場13:15~)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>クラシティ半田 3F市民交流センター大ホール</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>プチグリーンセミナー&ハーブ生演奏</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>さえずりの杜参加利用有無、関係なく、どなたでも</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>定員 通常120名のところ 30名+α(コロナ感染状況に応じて最大60名まで)</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>◇開催に関する事務経費に使用 ハーブ演奏者への謝礼、スタッフ、演奏者の駐車場代、感染予防対策(消毒剤など)、チラシ印刷・イング代、電話代など</p> <p>地域の皆様に、グリーンケアやさえずりの杜の活動を知っていただく機会となれば思い「プチグリーンセミナー」を行います。また、今回は、ハーブの生演奏者とのコラボを企画しており、それぞれのこころの中にある大切な人のいのちを思いながら、音楽を通した癒しの時間、くつろぎの時間を体験して頂ければと思っています。通常カフェは、グリーンを抱えた方がお越しになる事が多いですが、グリーンは誰の身にいつ起こっても不思議ではない事を考えると、日頃から、グリーンとそのケアの視点を持って頂くことが大切かと考え、広く市民の皆様に参加を呼びかけます。</p>	事業名等	② みんなの交流サロン さえずりの杜 ミニコンサート	日時(期間)	令和4年3月30日(水)13:30~15:30(開場13:15~)	場所	クラシティ半田 3F市民交流センター大ホール	内容	プチグリーンセミナー&ハーブ生演奏	対象	さえずりの杜参加利用有無、関係なく、どなたでも	参加人数	定員 通常120名のところ 30名+α(コロナ感染状況に応じて最大60名まで)
事業名等	② みんなの交流サロン さえずりの杜 ミニコンサート												
日時(期間)	令和4年3月30日(水)13:30~15:30(開場13:15~)												
場所	クラシティ半田 3F市民交流センター大ホール												
内容	プチグリーンセミナー&ハーブ生演奏												
対象	さえずりの杜参加利用有無、関係なく、どなたでも												
参加人数	定員 通常120名のところ 30名+α(コロナ感染状況に応じて最大60名まで)												
一言メッセージ	<p>投票理由を拝見して、皆さんが自分事としてグリーンを感じてくれたこと、活動の必要性を考えて下さったこと、とてもありがたく励みになりました。よかったら、実際の活動の様子も見に来てください。</p>												
NPO活動に向けた抱負	<p>グリーンの中には愛しさや大切な繋がりが隠れています。だからこそ、その悲しみが大切にされ、あるがままに受止められる「かなしみの居場所」の必要性を感じています。これからもグリーンの啓発やカフェ活動を地道に継続して行こうと思います。ありがとうございました。</p>												

寄附のゼミナール in あいち 2021

寄附金活用状況について

NPO団体名	さえずりの杜												
寄附金の活用状況	<p>■概要③</p> <table border="1" data-bbox="412 457 1270 903"> <tr> <td>事業名等</td> <td>③ さえずりの杜 通常グリーンカフェ</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>令和4年1月～令和5年3月(主に第2金曜日開催)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>クラシティ 3F活動ホールABC</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>毎月第2金曜日に開催される定期カフェ、個別傾聴、アート体験の開催</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>グリーンを抱えた方達</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>おおよそ毎月6名前後</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>◇通常のグリーンカフェの運営、 スタッフやお手伝いの方の駐車場代金、カフェの飲み物、 電話代等の事務費、アート体験の備品代に活用する予定</p> <p>近年、コロナ禍もあり様々の喪失体験に誰もが直面する状況の中で大切なものを失った悲しみ、孤独感を感じやすく、グリーンケアの大切さも身近になってきている。また、グリーン体験は人それぞれで、安心、安全な時間と居場所の提供、傾聴活動を継続的に取り組むためにも新たな人材の確保、運営費も安定していけたらと考えております。</p> <div data-bbox="405 1355 698 1574"> </div> <div data-bbox="716 1355 1020 1574"> </div> <div data-bbox="1037 1355 1322 1587"> </div>	事業名等	③ さえずりの杜 通常グリーンカフェ	日時(期間)	令和4年1月～令和5年3月(主に第2金曜日開催)	場所	クラシティ 3F活動ホールABC	内容	毎月第2金曜日に開催される定期カフェ、個別傾聴、アート体験の開催	対象	グリーンを抱えた方達	参加人数	おおよそ毎月6名前後
事業名等	③ さえずりの杜 通常グリーンカフェ												
日時(期間)	令和4年1月～令和5年3月(主に第2金曜日開催)												
場所	クラシティ 3F活動ホールABC												
内容	毎月第2金曜日に開催される定期カフェ、個別傾聴、アート体験の開催												
対象	グリーンを抱えた方達												
参加人数	おおよそ毎月6名前後												
一言メッセージ	<p>寄附のゼミナールでは、さえずりの活動に関心を寄せていただきありがとうございます。また、さえずりの杜のイベントやカフェにも見に来てください。</p>												
NPO活動に向けた抱負	<p>これからも足を運んで下さる方にとって、少しでも心と身体の緊張をほぐし、くつろいでいただける機会となるよう地道に活動していきたいと思っております。</p>												

寄附のゼミナール in あいち 2021

寄附金活用状況について

NPO団体名	岩屋緑地に親しむ会												
参加学校名	豊橋工科高等学校												
受け取った寄附金額	93,506円												
寄附金の活用状況	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>散策路(ときめきの径)の再生</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>令和3年～令和4年度にかけて (現在林内で大掛かりな枯木処理進行中につき) 令和4年完了予定</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>岩屋緑地内「四季ときめきの森」</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>設置後20年近く経過し、通路の幅木が腐食により、欠損しているため新しい幅木で散策路補修する。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>延長250mの区間、腐食の幅木を交換と森林管理用の軽トラック通路確保</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>延べ150人程度</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>《現況写真》</p>  <p>《参考：18年前施工時》</p>  <p>「1年後に大掛かりな枯木処理が完了するので、その後、資金を活用し右事項を行います。」</p>	事業名等	散策路(ときめきの径)の再生	日時(期間)	令和3年～令和4年度にかけて (現在林内で大掛かりな枯木処理進行中につき) 令和4年完了予定	場所	岩屋緑地内「四季ときめきの森」	内容	設置後20年近く経過し、通路の幅木が腐食により、欠損しているため新しい幅木で散策路補修する。	対象	延長250mの区間、腐食の幅木を交換と森林管理用の軽トラック通路確保	参加人数	延べ150人程度
事業名等	散策路(ときめきの径)の再生												
日時(期間)	令和3年～令和4年度にかけて (現在林内で大掛かりな枯木処理進行中につき) 令和4年完了予定												
場所	岩屋緑地内「四季ときめきの森」												
内容	設置後20年近く経過し、通路の幅木が腐食により、欠損しているため新しい幅木で散策路補修する。												
対象	延長250mの区間、腐食の幅木を交換と森林管理用の軽トラック通路確保												
参加人数	延べ150人程度												
一言メッセージ	変わっていく、岩屋緑地を見守ってください。												
NPO活動に向けた抱負	地元へ感謝、会員の楽しみ、安全な活動												

寄附のゼミナール in あいち 2021 寄附金活用状況について

NPO団体名 (URL)	NPO法人クオーレ (https://npo-cuore.com/)												
参加学校名	豊橋工科高等学校												
受け取った寄附金額	93,506円												
寄附金の活用状況	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>通常活動</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>2022年1月10日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>施設内 (就労支援インクル)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>オミクロン株による感染拡大対策として 空気清浄機と自動ディスペンサー式検温器を購入します</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>通所メンバー、スタッフ など</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>約60名</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>購入を予定している機材の写真を添付します。</p> <p>プラズマクラスター空気清浄機で 浮遊ウイルスの作用を抑える</p> <p>約18分後の効果です。検出した試験菌約25cm(6畳相当)</p>  <p>受験生や赤ちゃんのいるご家庭にぴったり</p>  <p>「オミクロン株による感染拡大対策として施設内に空気清浄機と自動ディスペンサー式検温器を購入します。</p> <p>障害者の方も、スタッフも安心して事業活動ができるように使わせていただきます。」</p>	事業名等	通常活動	日時(期間)	2022年1月10日	場所	施設内 (就労支援インクル)	内容	オミクロン株による感染拡大対策として 空気清浄機と自動ディスペンサー式検温器を購入します	対象	通所メンバー、スタッフ など	参加人数	約60名
事業名等	通常活動												
日時(期間)	2022年1月10日												
場所	施設内 (就労支援インクル)												
内容	オミクロン株による感染拡大対策として 空気清浄機と自動ディスペンサー式検温器を購入します												
対象	通所メンバー、スタッフ など												
参加人数	約60名												
一言メッセージ	この度は当NPO法人活動に共感をしていただき、誠に有難うございました。皆様方の温かいご支援に、あらためて心より厚く御礼申し上げます。												
NPO活動に向けた抱負	これからも誠実に活動に励むつもりでございますので、今回のご縁をきっかけによりしくお願いします。												

寄附のゼミナール in あいち 2021


寄附金活用状況について

NPO団体名	みなと塾												
参加学校名	豊橋工科高等学校												
受け取った寄附金額	112,988 円												
寄附金の活用状況	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>「六条潟・前芝海岸の自然とあゆみ」冊子作成事業</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>令和4年2月～11月</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>六条潟・前芝海岸（豊橋市前芝町）</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>写真を中心に六条潟・前芝海岸の自然と人のあゆみ、あわせてみる塾の活動報告の冊子作成</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>2008年から調査活動をしてきた中での六条潟の生き物、浜の様子などを写真で紹介する</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>みなと塾主要メンバー1,000人を中心に冊子作成</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>せっかくの寄附金ですので、通常活動に補助的に使うのではなく、多くの人に六条潟がいに大切な浜であることを訴える写真を中心とした冊子にし、できるだけ予算の許すかぎり冊数を多くし、六条潟への関心を高めていきたい。</p> <p>(冊子の主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇浜の全景や部分景観、自然環境 <ul style="list-style-type: none"> 干潟・海岸の表情、地形(定期的、出水、干満時間的变化) ◇干潟の生き物(動物、植物) ◇浜の賑わい・人の活動(潮干狩りほか) ◇浜の歴史・生活、史跡・施設、野外ミュージアムの文物、事象、人物 ◇「みなと塾」を中心とした浜での市民参加活動 <ul style="list-style-type: none"> 海岸清掃、干潟の生き物調べ、定点調査、干潟とのふれあい など 	事業名等	「六条潟・前芝海岸の自然とあゆみ」冊子作成事業	日時(期間)	令和4年2月～11月	場所	六条潟・前芝海岸（豊橋市前芝町）	内容	写真を中心に六条潟・前芝海岸の自然と人のあゆみ、あわせてみる塾の活動報告の冊子作成	対象	2008年から調査活動をしてきた中での六条潟の生き物、浜の様子などを写真で紹介する	参加人数	みなと塾主要メンバー1,000人を中心に冊子作成
事業名等	「六条潟・前芝海岸の自然とあゆみ」冊子作成事業												
日時(期間)	令和4年2月～11月												
場所	六条潟・前芝海岸（豊橋市前芝町）												
内容	写真を中心に六条潟・前芝海岸の自然と人のあゆみ、あわせてみる塾の活動報告の冊子作成												
対象	2008年から調査活動をしてきた中での六条潟の生き物、浜の様子などを写真で紹介する												
参加人数	みなと塾主要メンバー1,000人を中心に冊子作成												
一言メッセージ	投票ありがとうございました。みなさんの意見も参考に六条潟・三河湾を昔のようなきれいで豊かな多くの人を訪れる浜になるよう見守っていきます。みなさんもぜひ応援をお願いします。												
NPO活動に向けた抱負	六条潟・三河湾の浜は、豊橋市はもちろん愛知県としても全国に誇れる貴重な浜であることを多くの人に知ってもらい、関心を高めていきたい。												

「今まで調査してきた六条潟・前芝海岸の自然とあゆみについて冊子をつくり、多くの人たちにいかに大切な浜であるかを知ってもらいます」



寄附のゼミナール in あいち 2021

寄附金活用状況について

NPO団体名 (URL)	NPO法人 Earth as Mother (【 URL 】 http://www.earthasmother.com/) (活動紹介: https://www.youtube.com/watch?v=AF8Ax0oSY2I)												
参加学校名	安城学園高等学校												
受け取った寄附金額	85,714 円												
寄附金の活用状況	<p>■ 概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>食育・食農事業</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>令和4年1月~12月</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>豊田市、日進市</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>豊田市: 弊会圃場にて、田植え、自然観察会、稲刈り、感謝祭 日進市: 市と協働して、アグリスクール等を開催</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>一般、会員</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>30~50名</td> </tr> </table> <p>■ 具体的な状況</p> <p>購入器材(食育事業)</p> <p>①業務用ガスコンロ: リンナイ ガスコンロ ラクシエファイン KG66VGR</p>  <p>②TAKAGI 深型ザル 40cm ③イワタニ 風まる2カセットコンロ</p>	事業名等	食育・食農事業	日時(期間)	令和4年1月~12月	場所	豊田市、日進市	内容	豊田市: 弊会圃場にて、田植え、自然観察会、稲刈り、感謝祭 日進市: 市と協働して、アグリスクール等を開催	対象	一般、会員	参加人数	30~50名
事業名等	食育・食農事業												
日時(期間)	令和4年1月~12月												
場所	豊田市、日進市												
内容	豊田市: 弊会圃場にて、田植え、自然観察会、稲刈り、感謝祭 日進市: 市と協働して、アグリスクール等を開催												
対象	一般、会員												
参加人数	30~50名												
一言メッセージ	<p>社会的弱者の方への支援という大きなテーマでしたが、ご自身たちの将来も見据えての事として受け取っていただきまして、ありがとうございます。</p> <p>今回発表をさせていただきまして、NPO法人Earth as Motherで行っている活動が、今の世の中にとって必要である事の確信を得ました。</p>												
NPO活動に向けた抱負	<p>Earth as Mother、『母なる地球』という名前のNPO法人です。</p> <p>地球は宇宙に浮かぶ一つの国です。</p> <p>生きる意義や目的は、皆が楽しく仲良く暮らすことにあると思います。</p> <p>若い世代に、子ども達に、孫達に、輝かしい未来を渡していけるように、前進して参ります。</p>												


寄附のゼミナール in あいち 2021

寄附金活用状況について

NPO団体名 (URL)	NPO法人 アルフィン (np0-alphin.com)												
参加学校名	安城学園高等学校												
受け取った寄附金額	64,286 円												
寄附金の活用状況	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>スポーツ鬼ごっこ体験会</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>実施日未定(3月中を予定)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>安城市、半田市、常滑市、知多市、幸田町、蒲郡市等</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>スポーツ鬼ごっこの活動への参加促進を図り、広く認知してもらう。活動を楽しんでもらう。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学生1年～6年生</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>約20名</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>現在、各市町村へ教育委員会の後援許可を申請中。 許可が下り次第、小学校へパンフレットを配布。</p> <p>「小学校へ自分たちの活動を知ってもらうための、体験会パンフレットを作成、印刷するための費用に充てさせていただきます！」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【参考】 スポーツ鬼ごっこパンフレット (表) (裏)</p>	事業名等	スポーツ鬼ごっこ体験会	日時(期間)	実施日未定(3月中を予定)	場所	安城市、半田市、常滑市、知多市、幸田町、蒲郡市等	内容	スポーツ鬼ごっこの活動への参加促進を図り、広く認知してもらう。活動を楽しんでもらう。	対象	小学生1年～6年生	参加人数	約20名
事業名等	スポーツ鬼ごっこ体験会												
日時(期間)	実施日未定(3月中を予定)												
場所	安城市、半田市、常滑市、知多市、幸田町、蒲郡市等												
内容	スポーツ鬼ごっこの活動への参加促進を図り、広く認知してもらう。活動を楽しんでもらう。												
対象	小学生1年～6年生												
参加人数	約20名												
一言メッセージ	子ども、保護者、教職員、地域の方々も含め、スポーツ鬼ごっこが身近なスポーツへと意識が変わるよう取り組んでいきたい。そして、この活動が子どもたちを元気にするものだと知っていただけるよう取り組んでいきます。												
NPO活動に向けた抱負	まっさらな子どもたちをいろんな活動を通して、個性豊かな成長を遂げられるよう日々サポートしていきます！												

寄附のゼミナール in あいち 2021

寄附金活用状況について

NPO団体名 (URL)	学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会 (https://www.facebook.com/okonomikai/)												
参加学校名	安城学園高等学校												
受け取った寄附金額	150,000円												
寄附金の活用状況	<p>■概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>毎週木曜日 10時～15時</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>安城市民交流センター 2階 会議室、調理室</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>不登校や五月雨登校、行き渋りなどの社会問題を抱えた親子が安心して通える居場所づくり</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学生～中学生の学校が苦手な子 その保護者</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>子ども10名、親10名、 サポーター10名ほど</td> </tr> </table> <p>■具体的な状況</p> <p>おこのみ会の子どもたちに人気の『暗闇遊び』。ホールの電気を消して、真っ暗な中でかくれんぼしたり、鬼ごっこをするのが大好きで、いつもキャーキャー言いながら楽しそうに遊んでいます。</p> <p>そんな子どもたちに光るエアースッカー(下から空気が出て、軽く蹴るだけでスーッと動きます)、親子で人気のバドミントンのラケットがボロボロだったので、新しくラケットと暗闇でもバドミントンが出来るシャトルを購入させていただきました。</p> <p>予想通り、子どもたちに好評で、みんな汗だくになりながら楽しんで身体を動かしています。不登校の子どもたちは運動不足になりがちですので、今後も参加者親子の声を聞きながら、楽しく身体を動かすことの出来る道具を購入させて頂く予定です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	事業名等	学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会	日時(期間)	毎週木曜日 10時～15時	場所	安城市民交流センター 2階 会議室、調理室	内容	不登校や五月雨登校、行き渋りなどの社会問題を抱えた親子が安心して通える居場所づくり	対象	小学生～中学生の学校が苦手な子 その保護者	参加人数	子ども10名、親10名、 サポーター10名ほど
事業名等	学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会												
日時(期間)	毎週木曜日 10時～15時												
場所	安城市民交流センター 2階 会議室、調理室												
内容	不登校や五月雨登校、行き渋りなどの社会問題を抱えた親子が安心して通える居場所づくり												
対象	小学生～中学生の学校が苦手な子 その保護者												
参加人数	子ども10名、親10名、 サポーター10名ほど												
一言メッセージ	<p>この度はおこのみ会の活動に共感して頂き、寄付を頂きまして、ありがとうございました。学生の皆さんの思いや、経験に触れることが出来、大変貴重な経験をさせて頂きました。皆さんからの応援を心に留め、これから不登校の親子に寄り添う活動を続けてまいります。</p> <p>また長期休みの時などに遊びに来ていただけたら子どもたちも喜ぶと思います。よろしく願い致します。</p>												
NPO活動に向けた抱負	<p>不登校者数は年々増え続け、おこのみ会の参加者も増え続けています。今後も安定した運営をし、参加者親子の気持ちに寄り添う支援にチャレンジし続けていきたいと思っています。</p>												

寄附のゼミナール in あいち 2021

終了後の活動状況について

参加学校名：春日井市立東部中学校

NPO団体名 (URL)	NPO法人あいちかすがいつこ (https://kasugai-kosodate.org/)
一言メッセージ	子育て支援は学生の暮らしにとって一番身近ではない「課題」に感じていると思っていましたが、11名の生徒さんには「子育て支援がいかに地域に重要で、当事者だけでなく地域全体で解決する問題」だと気づいてくださったことがとても嬉しかったです。価値観は自分の家庭の中だけで形成されてしまいがちですが、ボランティアなどを通じていろいろな人との関わりこそが、今後大きな影響力を持つてくるとと思っています。 様々な価値観や考え方に触れ、生徒のみなさんの人生が豊かになることを同じ春日井市から願っています。
NPO活動に向けた 抱負	防災・多文化共生などは、問題も明確で支援しやすいものを感じています。子育て支援は社会的インパクトが大変見づらいため、継続的に活動するために必要な資金を調達することは時に困難なことがあります。 しかし、「継続し続ける事」で本当に地域が変わってきて、周りの方の当法人に対する見方も変化しました。 非営利組織が地域で担う役割を明確に発信し続け、子ども達の環境・子育てしている私たちの暮らしがより良いものになるために引き続き活動致します。 生徒の皆さんにお話しさせていただくことでプレゼンテーションの見直しもできたので今後に生かします。

NPO団体名 (URL)	安城防災ネット (http://genki365.net/gnka01/mypage/mypage_page_list.php?gid=G0000179)
一言メッセージ	たくさんの中学生のみなさんが、防災が重要と覚えていただき、大変うれしく思います。学校内だけでなく、地域の模範として、災害に対する備えを進めてください。町内会や市が主催の防災訓練や防災を啓発するイベントがあると思います。お友達を誘って、ぜひ、参加してください。防災に詳しい大人の人から、もっと詳しく学びましょう！
NPO活動に向けた 抱負	今回のプレゼンテーションで、「いつ来るかわからない災害に対する備えが大切」という理由で選んでくれた人がたくさんいました。同じように考える人を、もっともっと増やすため、私たち安城防災ネットも安城市内の学校や町内会など、さらに啓発活動を行う場所を開拓して、積極的に活動していきます。

NPO団体名 (URL)	NPO法人多文化共生サポートAdagio (tabunka-adagio.jimdofree.com)
一言メッセージ	私たちの活動に賛同してくれたみなさま、ありがとうございます。日常生活の中には様々な文化が存在しています。ちょっと視点を変えて目に見えない多文化に気づくことで今までと違った考えを持つことができます。そして、言葉が違って心を通わすことができるような人と人との関係を築いていくことが必要だと思います。一人ひとりの小さな気づきが大きな動きになって、いろんな背景を持つ人が安心して生活できる社会になることを期待しています。
NPO活動に向けた 抱負	「多文化共生」という言葉はまだ知らない人たちが多くですが、今回のような広報をすることで共感してくれる人たちが増えていくということがわかりました。急に社会を大きく変えることは難しいですが、地道な活動を続けることが大きな変化をおこすことだと信じてこれからも活動を続けていこうと思います。 新型コロナウイルスの終息と同時に外国人の受入は急激に増えていくことでしょう。今まで以上に生活の様々な場面で外国人住民と関わることになると思います。外国人と日本人がお互いを認め合いながら安心して暮らしていける社会を目指して活動していきたいと思ひます。

フィールドワーク

●●● 「フィールドワーク」とは ●●●

フィールドワークは、寄附のゼミナール参加校の生徒が、NPOの活動を現場で体験することにより、社会参画・貢献を考える実地学習です。

	学校	NPO
2020年度	寄附のゼミナール実施 (高校、中学)	寄附のゼミナール参加 (12団体)
2021年度	フィールドワーク実施 (2020年度寄附の ゼミナール参加校 (高校のみ))	フィールドワーク参加 (3団体)

現地へ赴き、
NPOの活動を体験します



1 開催概要

(1) 実施校等

実施校 (所在地) [対象生徒]	日時	訪問先NPO
愛知県立 東海商業高等学校 (東海市) [2年生 14名]	8月19日(木) 13:40~16:20	認定NPO法人 アジア車いす交流センター
愛知県立 成章高等学校 (田原市) [3年生 11名]	8月4日(水) 8:45~12:00	環境ボランティアサークル 亀の子隊
栄徳高等学校 (長久手市) [1・2年生 16名]	7月26日(月) 13:10~15:20	社会福祉法人日本介助犬協会 介助犬総合訓練センター

(2) 訪問先NPO紹介

訪問先NPO (所在地)	事業内容
認定NPO法人 アジア車いす交流センター (刈谷市)	車いすや教育の支援活動を通じて、アジアの障がい児を取り巻く社会的課題に取り組んでいる。
環境ボランティアサークル 亀の子隊 (田原市)	西の浜をきれいにするためのゴミ拾い活動や、西の浜を通して三河湾、伊勢湾の環境を考え、よりよくしていくための啓発活動を行っている。
社会福祉法人日本介助犬協会 介助犬総合訓練センター (長久手市)	肢体不自由者が自立と社会参加を果たせるよう、良質な介助犬の育成と訓練を行っている。

※ 訪問先NPOは、いずれも2020年度寄附のゼミナールに参加しています。

2 開催実績

① 愛知県立東海商業高等学校

訪問先：認定NPO法人アジア車いす交流センター（刈谷市）

参加者：14名（2年生）

愛知県刈谷市内にある認定NPO法人アジア車いす交流センターを訪問しました。

アジア車いす交流センターへ向かう道中のバスの車内では、アジア車いす交流センターの方がこの法人に興味を持ったきっかけなどをお話していただき、高校生のみなさんは真剣に耳を傾けていました。



アジア車いす交流センターでは、法人の説明を受けたのち、車いす清掃ボランティア体験を行いました。ボランティア体験では、高校生は2グループに分かれて、ボランティアの方からやり方の指導を受けながら、車いすをきれいに磨いたり、空気を入れたり、一生懸命に取り組んでいました。



高校へ帰るバスの車内でも、「コロナ禍でもできる国際協力」とは何があるか、アジア車いす交流センターの方から出された課題に対し、高校生からは様々な意見が出ていました。

訪問先NPO

認定NPO法人アジア車いす交流センター



アジア車いす交流センターでは、車いすや教育の支援活動を通じて、アジアの障がい児を取り巻く社会的課題に取り組んでいます。

参加者の声

- 車いすに触れた事が一度もなかったが、今回掃除をする事ができ、滅多にない経験をさせてもらった。一つ一つの部品が細かく、なくさないように気を付けた。また、こんなにも大変な作業だったんだと驚いた。
- 車いすのことや他の国の状況を知って、私が思っていた人助けとは、本当に一部の事だけだったんだと気付いた。車いすを利用する人がいれば、それを提供する人や修理する人がいること、それをボランティアで行っている方がいることに気付いて、とても勉強になった。
- 社会貢献を仕事にし、車いすと生活を共にする人や障がいを持つ人に対して何かできないかと常に考え、企画としてすぐに行動に移そうとする考えに、とても感銘を受けた。私も人のためにできることを考えて、浮かんだことを一つずつ行動に移していけるよう励んでいきたいと思う。
- 車いすの修理の体験が、意外と力仕事で大変だなと思った。使う人のために細かい所まで配慮しているのが話を聞いていて伝わってきて、自分から動いてボランティアや仕事をしているWAFCAは素敵だなと思った。人のために動くことのうれしさと楽しさを忘れていて、今日話を聞いて、また人のためにボランティアしようかなと思えた。
- 今回フィールドワークに参加して、自分のこれからの進路を決めるのに視野が広がって、今まで考えてこなかった国際交流に興味を持つことができた。

② 愛知県立成章高等学校

訪問先：環境ボランティアサークル 亀の子隊（田原市）

参加者：11名（3年生）

環境ボランティアサークル 亀の子隊と、愛知県田原市内にある西の浜海岸を訪問しました。

西の浜海岸へ向かう道中のバスの車内では、亀の子隊の方から、西の浜海岸の現状などをわかりやすく説明していただき、高校生のみなさんは真剣に耳を傾けていました。



西の浜海岸では、生き物観察を行い、海のきれいさや生き物の豊かさを感じたのち、海岸のクリーンアップ活動を行いました。クリーンアップ活動では、ゴミの多さに驚きながらも、みなさん一生懸命ゴミを拾い、170kgものゴミを拾うことができました。



訪問先NPO

環境ボランティアサークル 亀の子隊



亀の子隊では、西の浜をきれいにするためのゴミ拾い活動や、西の浜を通して三河湾、伊勢湾の環境を考え、よりよくしていくための啓発活動を行っています。

参加者の声

- 海の生き物の観察をして、イソギンチャクを触った。初めて触ったが、プニプニしていて、面白い発見があった。魚やカニ、貝なども見ることができ、とても貴重な経験ができた。
- フィールドワークを通して西の浜の現状を知るとともに驚いた。そして、帰りのバスでゴミの量は毎年あまり変わっていないということを知り、残念に思った。今日知った知識や楽しかった体験を周囲の人に共有して、もっと人が集まるようになったらいいなと思った。
- 海岸に落ちているゴミは、その場で捨てたか、どこかから流れ着いてくるものだけだと思っていたが、風で飛ばされたりして海に入ってしまうなど、海から離れたところで捨てられたゴミの方が多いと知った。海の近くに住んでいる人たちだけが気を付ければ良いわけではないということは、海を守るために必要なことだと思った。海から離れたところでも、ゴミはしっかり分別して捨てることを心がけようと思った。
- 私は自然が好きで、地球環境の問題も気になっていた。なので、亀の子隊に参加し、海をきれいにするお手伝いができて、とても良かった。小さなゴミから大きなゴミまでたくさんあり、残念だった。



③ 栄徳高等学校

訪問先：社会福祉法人日本介助犬協会
介助犬総合訓練センター（長久手市）

参加者：16名（1・2年生 ボランティア部、放送部の生徒）

愛知県長久手市内にある社会福祉法人日本介助犬協会 介助犬総合訓練センターを訪問しました。

介助犬総合訓練センターでは、センター長からお話していただいたのち、施設の見学や、介助犬が物を拾うなどのデモンストレーションを行っていた。高校生のみなさんは楽しそうに見学していました。



その後、2人1組となり、マークを言語のみで相手に伝えるコミュニケーショントレーニングを実施しました。コミュニケーショントレーニングでは、みんな真剣に取り組み、上手に伝えられていました。



訪問先NPO

社会福祉法人日本介助犬協会 介助犬総合訓練センター



日本介助犬協会では、
肢体不自由者が自立と
社会参加を果たせるよ
う、良質な介助犬の育
成と訓練を行っています。

参加者の声

- 自分の高校に寄附につながる自動販売機があるので、極力そこから買って、少しでも支援できたらなと思った。補助犬にもいろんな種類があって、役割があって、すごいと思った。犬も楽しみながら仕事ができるのは、素敵だと思った。
- 介助犬のPR犬のレモンちゃんのお仕事紹介がおもしろかった。見た目は普通の犬なのに、いろんなことができているすごいと思った。ユーザーさんがケガをしないように訓練していたり、工夫してあるのは、当たり前なことだけど、できる犬は少ないのかなと思った。
- 町で介助犬に会ったときにどんな風にしたらいいか、知らない人の方が多いと思うので、たくさんの方がこういうことを知れるイベントに参加してほしいと思った。
- 手足が不自由な人が少しでも楽に暮らせるような社会になってほしいなと思った。
- 介助犬の育成方法や、仕事風景など知ることができて良かった。



指導者養成セミナー

「指導者養成セミナー」とは

指導者養成セミナーは、寄附のゼミナールが県内の市町村で実施可能となるよう、市町村及びセンター職員、中間支援NPO職員を対象に、寄附のゼミナールの指導者を養成するためのセミナーです。

2020年度からは、「寄附のゼミナール直前講座」として開催しています。

1 開催概要

寄附のゼミナールを市町村へ普及していくために指導者を養成する必要性から、寄附のゼミナールの開催に併せ、同ゼミナールの実施に必要な知識を身に付ける講座「寄附のゼミナール直前講座」を開催しました。

(1) スケジュール

場所	日時	講師
愛知県立 半田商業高等学校	10月28日（木） 12:30～13:10	特定非営利活動法人 中部プロボノセンター 事務局長 大須賀 恵子氏
安城学園高等学校	12月10日（金） 15:00～15:40	特定非営利活動法人 中部プロボノセンター 代表理事 戸成 司朗氏
春日井市立東部中学校	11月30日（火） 14:30～15:10	特定非営利活動法人 中部プロボノセンター 事務局長 大須賀 恵子氏

(2) 講師



特定非営利活動法人中部プロボノセンター 代表理事 戸成 司朗 (となり しろう) 氏

35年間セゾングループ(株)西友に勤務、07年執行役副社長を最後に退任、この間に日本チェーンストア協会初代社会貢献委員長を務める。自宅の在る日進市に戻り、第二の人生を社会に貢献したく、同年住友理工(株)に入社、CSR部長、アドバイザーとして、価値創造型CSRを推進してきた。



又、2013年中部圏の企業人の社会参加を目指し、NPO法人中部プロボノセンターを設立し共同代表理事を務める。又、中京大学大学院にて客員教授としてソーシャルビジネスを教える。2019年一般社団法人中部SDGs推進センターを設立、代表理事に就任しSDGsの普及啓発、実践指導を行っている。

現職：一般社団法人中部SDGs推進センター 代表理事
合同会社戸成事務所 代表社員



特定非営利活動法人中部プロボノセンター 事務局長 大須賀 恵子 (おおすが けいこ) 氏

(株)デンソー総務部社会貢献推進室で約15年間社員のボランティア活動の推進など、社会貢献活動に携わった。退社後2017年から現職にて、社会人プロボノの持つ知識・技能・経験を活かして、NPOの事業活動をいっそう向上させることを通じて社会に貢献することを目指し活動の推進に当たっている。

2 開催実績

(1) 開催日時等

① 愛知県立半田商業高等学校

日 時：令和3年10月28日（木）12:30～13:10

場 所：県立半田商業高等学校（半田市）

参加者：7名（開催校の教諭の方を含みます。）

② 安城学園高等学校

日 時：令和3年12月10日（金）15:00～15:40

場 所：安城学園高等学校（安城市）

参加者：2名

③ 春日井市立東部中学校

日 時：令和3年11月30日（火）14:30～15:10

場 所：春日井市立東部中学校（春日井市）

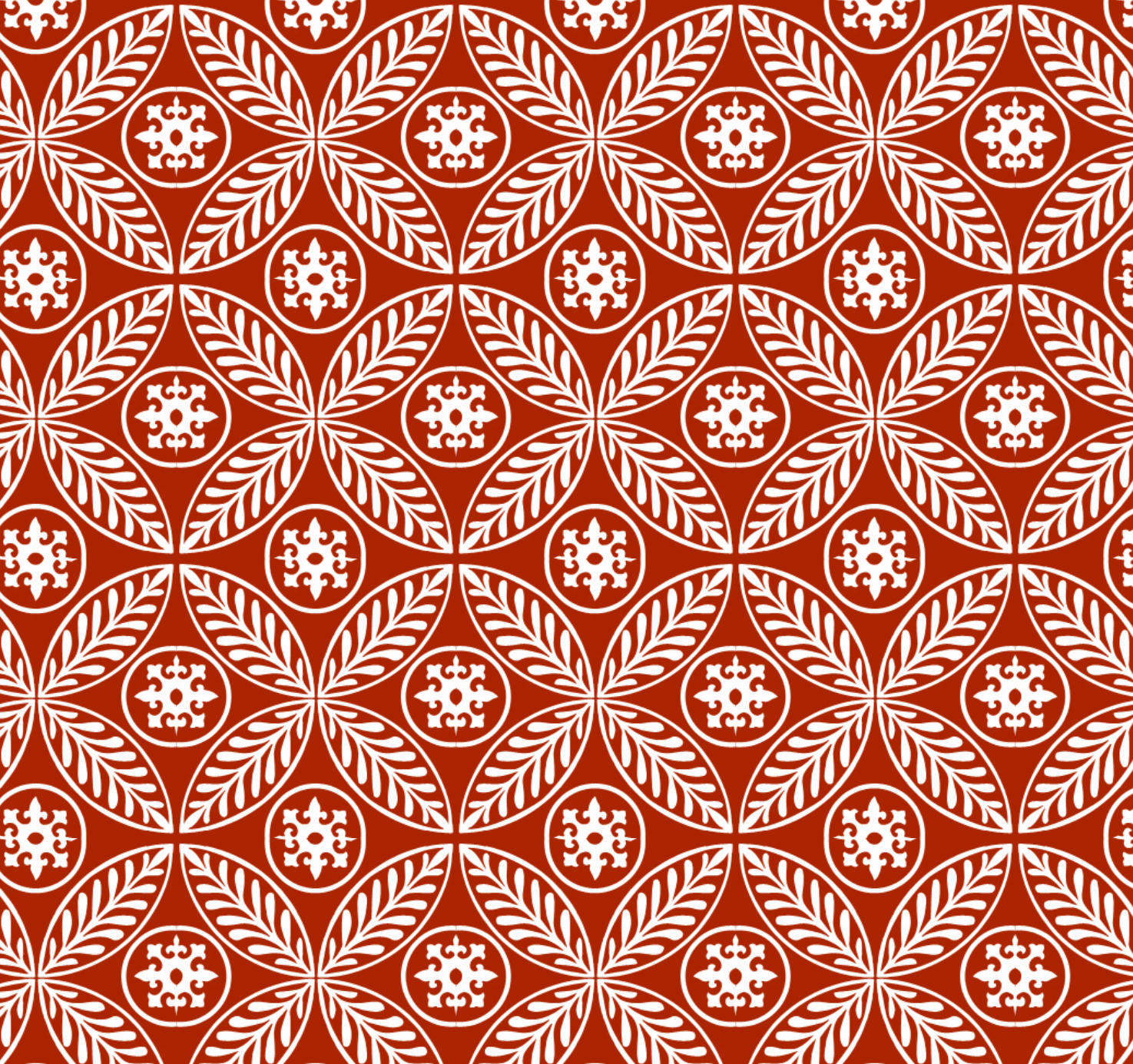
参加者：1名

(2) 概要

講師から、参加NPOに対するプレゼンテーション研修によるNPOの資金調達力向上のためのポイントや寄附のゼミナール開催による若者の寄附意識・社会貢献意識の醸成に係るポイントについて、レクチャーが行われました。



左から、県立半田商業高等学校・安城学園高等学校・春日井市立東部中学校



寄附教育あいちモデル策定事業 成果報告BOOK2021

2022年3月

主 催：愛知県（県民文化局県民生活部社会活動推進課）
受託団体：特定非営利活動法人中部プロボノセンター

（寄附のゼミナール）